

# 「自分らしく社会に貢献できる人材を育成する学校」

本校のカリキュラム遂行に於けるルール遵守の徹底は、社会人としての育成の第一歩である。これを前提とし、生徒一人ひとりの生活スタイルやリズムを尊重することで、学習への主体性を養う。また、一人ひとりに寄り添い、他者と比較しない環境の中で自己肯定感を向上させることも、大切な役割である。その上で、教科学習や特別活動などを通じ、興味、関心の分野や対象を意識させ、卒業後の目標設定へと導く、以上が、本校の果たすべき社会的使命の一つである。

## ミッション遂行の為に土台となる理念

### ① 自己肯定感の向上

- ・他者との比較ではなく、自分自身の成長に目を向ける。
- ・得意分野や才能を発見する。  
→好きなものの中に才能は隠れている。

### ② 社会性の育成

- ・多様な考え方、様々な年代の生徒との触れ合いにより他者理解を促す。
- ・産業界との連携などを通じ、社会を知る機会を提供する。
- ・信頼できる職員との個対個の関係作りを基に、集団の中での自己表現ができるように支援する。

## 資質・能力の育成

### ( Admission Policy )

#### どのような生徒を受け入れるのか

- ・将来への夢を持ち、目標実現に向けて自ら取り組もうとする生徒
- ・社会に関心を持ち、豊かな人間性を身につけようとする生徒
- ・自分の人生は自分で選ぶという意思を持った生徒

### ( Curriculum Policy )

#### どのように学ぶか

- ・外部講師を活用するなど社会を意識できる授業の実施
- ・主体性を育む添削教材の設定
- ・ICTを活用した基礎学力の定着や能動的な学びのできる環境の提供

### ( Graduation Policy )

#### 何ができるようになるのか

- ・自己承認、自己決定、自己管理
- ・周りの状況を観察し、柔軟に対応すること。

#### 何が身につくのか

- ・基礎学力及び基本的な生活習慣
- ・社会を構成する一員としての意識
- ・自ら学ぶ姿勢、向上心

#### カリキュラム実現のためのポイント

- ・外部（社会）との連携・協働
- ・生徒の自己肯定感向上、目標設定支援のための指導力向上（カウンセリングスキル、コーチングスキルなど）
- ・タブレット（ICT）活用の為の学習システムの導入、構築

令和6年度重点目標

10年後の  
あなたを  
応援します！



# 進路の多様性理解と人材育成の仕組みづくり